



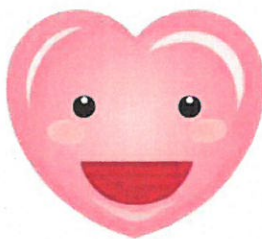
長浜小だより

浜田市立長浜小学校 令和2年11月12日発行

校長 濱崎 政寿 11月号

【教育目標】：自立と共生を目指し、豊かな心と確かな学力を持ち、健康で明るくたくましい児童の育成

人権・同和教育の参観日



例年、10月参観日にPTA主催の「長浜っ子まつり」を開催していましたが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、10月17日(土)に参観授業のみ実施しました。校舎内での密を避けるため、学年・学級を2校時と3校時に分けて、授業を公開しました。保護者の皆様方には、校内でのマスク着用、玄関での手指消毒のご協力をお願いしました。

参観授業では、全学級が人権・同和教育に関わる学習をしました。1年生は、道徳で「だれとでもおなじように『いちちゃんとブルくん』」の学習をしました。「誰とでも分け隔てなく接しようとする態度を育てる」ことをねらいとしています。張り切って学習に取り組むことができ、挙げた手が指先まで伸びているのが印象的でした。



4年生は学級活動で「相手の立場に」の学習をしました。「給食を弁当にするべきだ」など、いくつかの質問に対して、まず、自分の考えを決め、それぞれの立場で意見交換をします。そして、自分の考えを押し通すのではなく、相手の立場になって気持ちを考えることで、互いの考えや感じ方に違いがあることに気づくことをねらいとしています。友達の考えをしっかりと聴こうとする態度がよかったです。



他の学年・学級においても、道徳、学級活動の授業が展開されました。どの学年・学級でも、児童が一生懸命考え、自分の考えを伝えようとする姿が心に残りました。

「長浜っ子まつり」は、児童・保護者の皆様・職員を合わせると、参加人数が500名を超えることが予想されるため、開催されませんでした。来年の秋には、新型コロナウイルス感染症が収束することを祈るばかりです。学校では、校内でのマスク着用や手洗い・消毒を続けていきます。ご家庭でのご理解とご協力をお願いいたします。

人権・同和教育参観日へのご参加ありがとうございました。



修学旅行

10月28日(水)、29日(木)に6年生が修学旅行に行きました。6月に広島市・福山市を見学する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、10月に延期し、目的地も島根県内として実施しました。島根県は東西に長いという特徴がありますので、家族等で行ったことのない見学先がたくさんあったようです。ふるさと島根県を知る機会とすることができたように思います。

1日目 大田市・出雲市

1日目の大田市の石見銀山世界遺産センターは、銀山の全体像がわかるジオラマや丁銀の模型など、石見銀山のことがよくわかる展示物がいっぱいでした。石見銀山が日本で14番目の世界遺産に選ばれたのはなぜなのか、その理由や関係者の努力についても学ぶことができました。



出雲市では、出雲大社を見学した後、古代出雲歴史博物館で、出雲大社境内から2000年に出土した宇豆柱や荒神谷遺跡から出土した【国宝 銅剣・銅矛】や加茂岩倉遺跡から出土した【国宝 銅鐸】を見学しました。古代出雲の歴史や宝についてしっかり学ぶことができました。

2日目 安来市・松江市

2日目の安来市加納美術館は改修中で入館できませんでしたが、加納名誉館長に加納完雷についてのお話をいただきました。松江城天守閣では、5班に分かれて、それぞれガイドの方に詳しく説明をしていただきました。城を守るための様々な工夫について知ることができました。天守閣から松江市の東西南北を展望することもできました。



最後の見学先 フォーゲルパークでは、国内・世界に生息する様々な鳥を観察することができました。館内センターハウスではペゴニアを中心とする満開の花を楽しむこともできました。

学校で学んだことを修学旅行で実際に見たり、聞いたり、体験したりすることにより、さらに深めたり、関連づけたりするという目的は十分に達成することができました。楽しむところはしっかり楽しんで、学ぶときには真剣な表情で学ぶ子ども達の眼差しが印象に残りました。

見たこと、聴いたこと、感じたことをこれからの生活に生かしてほしいと思います。

就学時健康診断



11月5日(木)に就学時健康診断・入学説明会を実施しました。内科検診や歯科検診、身体測定などの受診と並行して、保護者の方には本校の教育活動の紹介や入学に向けての準備について説明しました。

本校校舎に入るのが初めての子ども達がほとんどだったと思います。見るもの全てがめずらしく、あちらこちらに視線が移り、興味深々の様子を感じました。また、保護者の方から離れると少し緊張して不安げな様子も見て取ることができました。

小学生になったら、たくさん友達をつくりたいとか、芝生の校庭でサッカーをしたいとか、いろいろな希望を持って来年4月に入学してきます。希望をかなえ、楽しく充実した小学校生活のスタートがきれいようにしっかり準備をしていきます。



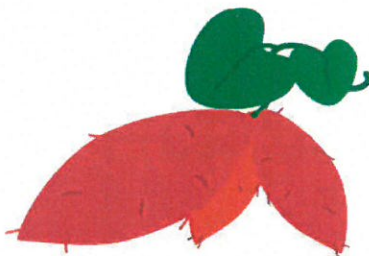
収穫の秋 1年生

11月9日(月)に1年生が6月に植えたサツマイモを掘り起こして収穫しました。校庭の大銀杏の近くの学年園で育ててきたものです。

夏が過ぎ、秋になり、生活科で育っていく様子を観察してきました。

芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋など、いろいろな秋がありますが、1年生は晩秋に収穫の秋を体験することができました。日常生活の中で土に触れることがほとんどないと思います。土を触り、土のにおいを嗅いで、イモを掘り起こす体験は貴重だったと思います。

掘ったサツマイモをどうするのか、これからみんなで話し合います。



余話

今年度も折り返し点を過ぎたかと思っていながら、いつの間にか三分の二が終わろうとしています。「アフターコロナ」という声も聞こえてきますが、いくつかの都道府県において新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、未だ収束の兆しは見え、懸命な取組が続けられています。もう少し「ウイズコロナ」の状態が続くようにも思われます。

気温が下がり、インフルエンザの流行期と重なるこれから、家庭や学校において、「毎朝の検温、かぜ症状の有無の確認」、「マスクの着用、手指消毒の徹底」、「3密を避ける」など、今まで取り組んできたことを続けていくことが重要であると考えています。

さて、過ぎた三分の二を振り返ってみます。4月8日に始業式、9日に入学式を予定通り行いましたが、新型コロナウイルスの全国での感染拡大により4月21日から5月10日まで臨時休業となりました。この間、学校で「子どもの居場所」が開設されました。約3週間臨時休業となっていますので、授業時間を確保するために、1学期の終業式を7月31日、2学期の始業式を8月24日とし、子どもたちの夏休みを短縮しました。

行事関係では、1学期の小体連陸上大会、ミニ運動会は中止になりました。2学期の小体連体操大会、連合音楽祭も中止になりました。2学期の運動会は、種目数を減らし、弁当を教室で食べるようにするなど、「3密」を避ける工夫をして実施しました。6年生の修学旅行は、目的地を島根県中東部に変更して秋に実施しました。学習発表会は、1月と2月に学習発表参観日として実施する予定です。

予定通り実施できた行事は数えるほどで、ほとんどが中止、延期、変更(工夫して実施)せざるをえませんでした。まさに「ウイズコロナ」で、コロナ禍の中で、日々変化して状況に対応していくことができる力を子どもたちにつけていきたいと思っています。

12月行事

- 1日(火) お話プレゼント
- 8日(火) 県学力調査(5・6年)
- 9日(水) クラブ
- 15日(火) 個人面談
- 16日(水) 個人面談
- 17日(木) 個人面談
- 18日(金) 個人面談
- 25日(金) 終業式 給食終了
- 26日(土) 冬季休業開始

